報道発表資料

令和４年９月 16 日
（一財）3.11 伝承ロード推進機構

令和４年度「防災・伝承セミナーin 岩手」の開催について

（一財)3.11 伝承ロード推進機構は、東日本大震災の被災地にある震災伝承施設のネットワークを推進し、地域の防災力の向上や交流促進を目的として「3.11 伝承ロード」活動を行っています。その活動の一環として、「防災・伝承セミナーin 岩手」を行います。

【会場及び WEB セミナー】

防災・伝承セミナーin 岩手

１．日　時：令和４年 11 月７日（月）13:30～16：00
２．場　所：宮古市市民交流センター２Ｆ多目的ホール
　　岩手県宮古市宮町１－１－30
３．開催概要
　１）開会のあいさつ　　岩手県知事　達　増　拓　也　氏
　２）基調講演　　岩手大学　理工学部教授　南　　正　昭　氏
　　テーマ：「岩手県の新たな津波浸水想定と未来への備え」
　３）特別講演　　復興庁統括官付審議官　岡　本　裕　豪　氏
　　テーマ　「東日本大震災からの復興と教訓」
　４）パネルディスカッション
　　テーマ：「これからのまちづくりと震災伝承について」
　　～岩手県の新たな津波浸水想定区域が公表され、
　　まちづくりに求められるものは何か～
　　パネリスト　宮　古　市　長　　山　本　正　徳　氏
　　おらが大槌夢広場代表理事　　神　谷　未　生　氏
　　岩手大学名誉教授・災害文化研究会世話人代表　山　崎　友　子　氏
　　岩手県県土整備部河川課総括課長　　馬　場　　聡　氏
　　アドバイザー　岩手大学理工学部教授　　南　　正　昭　氏
　　コーディネーター
　　3.11 伝承ロード推進機構業務執行理事　原　田　吉　信
５．申込方法　申し込み専用フォーム
　　（一財）3.11 伝承ロード推進機構 HP　http://www.311densho.or.jp/
　　「防災・伝承セミナーin 岩手」のバナーから申込をお願いします。
６．定　　員　　50 名（会場）、300 名（オンライン）
７．主催等　（一財）3.11 伝承ロード推進機構、岩手県（共催）

〈発表記者会〉
岩手県政記者会、東北電力記者会、宮古市記者クラブ、釜石市記者クラブ、建設専門紙

【本件に関するお問い合わせ先】
一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構　佐藤 勝也　　TEL：022-393-4261

【会場および WEB セミナー】

教訓が、いのちを救う。
3.11 DENSHO ROAD

令和４年度 防災・伝承セミナー in岩手

これからのまちづくりと震災伝承について

～岩手県の新たな津波浸水想定区域が公表され、まちづくりに求められるものは何か～

開催日
11/7(月)
13:30～16:00
参加費無料

会場	宮古市市民交流センター２階「多目的ホール」
WEB	オンライン配信あり ※YouTube ライブにて配信します
定員	50 名（会場）、300 名（オンライン）※定員になり次第締め切ります
締め切り	令和４年 10 月 30 日（日）※10 月 31 日（月）聴講用 URL を送信します

挨拶	達増 拓也 氏（岩手県知事）
基調講演	南 正昭 氏（岩手大学理工学部教授） 「岩手県の新たな津波浸水想定と未来への備え」
特別講演	岡本 裕豪 氏（復興庁統括官付審議官） 「東日本大震災からの復興と教訓」
パネルディスカッション	「これからのまちづくりと震災伝承について」

～岩手県の新たな津波浸水想定区域が公表され、まちづくりに求められるものは何か～

【パネリスト】	山本 正徳 氏	（宮古市長）
	神谷 未生 氏	（おらが大槌夢広場代表理事）
	山崎 友子 氏	（岩手大学名誉教授・災害文化研究会世話人代表）
	馬場 聡 氏	（岩手県県土整備部河川課総括課長）
【アドバイザー】	南 正昭 氏	（岩手大学理工学部教授）
【コーディネーター】	原田 吉信	（3.11 伝承ロード推進機構業務執行理事）

≪感染症対策について≫
会場参加者の皆様にはマスクの着用、手指の消毒をお願いします。
また、会場内での大声での会話、飲食はご遠慮ください。

≪継続教育≫ 一般社団法人建設コンサルタント協会 CPD プログラム（申請中）
※対象：会場及び YouTube ライブ聴講者のみ

【主 催】一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
【共 催】岩手県
【後 援】国土交通省東北地方整備局、復興庁岩手復興局、
公益社団法人日本都市計画学会東北支部、一般社団法人岩手県建設業協会

これからのまちづくりと震災伝承について

～岩手県の新たな津波浸水想定区域が公表され、まちづくりに求められるものは何か～

プログラム

13:30～	開会あいさつ　岩手県知事　達増 拓也 氏
13:35～	≪基調講演≫　南　正昭 氏 「岩手県の新たな津波浸水想定と未来への備え」
14:20～	≪特別講演≫　岡本 裕豪 氏 「東日本大震災からの復興と教訓」
14:50～	休憩
15:00～	パネルディスカッション「これからのまちづくりと震災伝承について」
16:00～	閉会

講　師

南 正昭 氏
岩手大学理工学部　教授

専門は、都市・交通計画学。復興支援や地域づくりにつながる実践的研究活動を継続している。学術論文に「壊滅的被災下における住民主体によるコミュニティ再生の支援に関する実践的研究」ほか多数。日本都市計画学会理事・東北支部長、（一財）3.11 伝承ロード推進機構理事、岩手県東日本大震災津波伝承館運営協議会会長ほかの公職を務める。

岡本 裕豪 氏
復興庁統括官付審議官

平成３年４月　建設省（現国土交通省）採用
平成 25 年８月　東北地方整備局　建政部長
平成 26 年７月　東北地方整備局　総務部長
平成 27 年７月　国土交通省大臣官房調査官
平成 29 年７月　復興庁統括官付参事官
平成 31 年４月　㈱海外交通・都市開発事業支援機構
　　シニアダイレクター
令和３年４月　復興庁統括官付審議官

コーディネーター

原田 吉信　一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構　業務執行理事

元国交省職員。技術系職員として国道や高速道路の調査設計施工に長く携わる一方、防災関係の業務にも携わる。東日本大震災では被災自治体の民政支援を担当。震災伝承施設の登録制度の導入にも係わる。令和元年８月より財団勤務。令和４年７月より現職。

パネリスト

山本 正德 氏　宮古市長

昭和 30 年宮古市（旧田老町）生まれ。
昭和 49 年３月岩手県立盛岡第一高等学校卒業
昭和 56 年３月岩手医科大学歯学部卒業
昭和 59 年４月歯科医院開業
平成 12 年４月宮古歯科医師会副会長
平成 20 年８月宮古市教育委員会教育委員長
平成 21 年７月第２代宮古市長就任（平成 21 年７月３日～現在）

神谷 未生 氏　一般社団法人おらが大槌夢広場代表理事

名古屋出身。高校卒業後、米国の大学へ留学。卒業後、米国にて正看護師として、大学病院に勤務しつつ海外派遣医療団を経験。青年海外協力隊として途上国医療にも携わる。2011 年、国際 NGO 職員として大槌町に派遣され、緊急支援活動に従事。2012 年 10 月、ロンドン大学大学院にて国際公衆衛生学修士号取得。2012 年 12 月より現在の団体に所属し、2014 年１月に事務局長に就任。大槌人と結婚し現在は一児の母。

山崎 友子 氏　岩手大学名誉教授・災害文化研究会世話人代表

2002年、宮古市田老で自作の紙芝居『つなみ』で啓蒙活動を続ける田畑ヨシさんと出会う。東日本大震災直後岩手大学に設立された地域防災研究センターの初代災害文化部門長となり、文化を「危機に直面する技術」と捉えて、ヨシさん・ご家族・地域のみなさんから学びながら新分野の研究を行い、　災害文化研究会を設立。

馬場 聡 氏　岩手県県土整備部河川課総括課長

平成３年岩手県職員採用。
県土整備部河川課河川海岸担当課長、大船渡土木センター副所長を経て、令和２年４月から同センター所長を務める。
令和４年４月から現職。
東日本大震災津波以降、防潮堤等の復旧・整備、津波浸水想定の設定・公表等の津波防災に携わる。

申し込み・お問い合わせ

申し込み：ホームページ申し込みフォームより
https://www.311densho.or.jp/

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町 3-2-26　3F
TEL：022-393-4261